

「蹴球都市・藤枝MYFCのJ2参入一年目の5月」

2023年5月3日（水・祝）J2リーグ第13節 藤枝MYFC VS 大分トリニータ
14:00KO 藤枝総合運動公園サッカー場 観衆4363名 天候 晴れ



↑JR藤枝駅



↑藤枝ぎざなベース



↑正面玄関



↑ホームゴール裏



↑地元小学生の WELCOME ボード



↑ボランティアのごみ回収

静岡県藤枝市は静岡駅からJR東海道本線で20分、かつては東海道五十三次の宿場町として、現在は静岡市のベッドタウンとしても発展している都市です。JR藤枝駅に到着すると「がんばれ！藤枝MYFC」と常設の超大型のボードが出ていました。駅に着くやいなや期待感ワクワクです。

藤枝駅前には「藤枝きずなベース」という藤枝のサッカーの歴史の写真パネルが展示しています。案内していただいた方は「藤枝でサッカーといえば藤枝東高校のほうが有名で盛り上がる。全国優勝、準優勝したときはパレードも行なった。藤枝MYFCはJ2に昇格して地元では、じわじわ盛り上がっている。行政も本腰で力を入れはじめた。J2になるとアウェイのお客様も多いのでおもてなしをしていきたい」という地元ならではの貴重なお話を伺うことができました。

後で知ったのですが、藤枝市役所には「サッカーのまち推進課」があり、サッカー一部も東海社会人リーグ1部に所属どころか全国自治体職員サッカー選手権で優勝29回、準優勝10回という無敵ぶり。まさに蹴球都市という言葉がぴったりです。

2, 4000名の来場者

藤枝総合運動公園は首都圏に例えるなら町田ゼルビアのホームである野津田に似ていてかなり広大な運動公園で、その中にサッカー専用のスタジアムがあります。KO3時間半前の10:30集合です。ホワイトボードに当日の最新の配置表があり、名前欄に○印をつけることが出欠と兼ねています。(事前にメールで配置表が届いたのですが、直前の変更もあったようで、皆さんスマートフォンで写真を撮っていました)また今節から資料の配布をなくし、各自プリントするかスマートフォンで見るように変更したとのことでした。

朝礼ではクラブのボランティア担当社員から当日の説明がありました。4000名以上の来場予想で過去最高になりそうだったとのことでした。ポジションはチケットもぎり、配布物、入場者数カウント、再入場(南北2ゲート)、グッズ販売、座席チェック、横断幕と幅広く25名の皆さんと活動が始まりました。

土休日の試合ですと、20~25名程度のボランティアが活動されていて、藤枝およびその周辺の方が多いそうです。

私は配布物の担当の予定でしたが、座席チェックに変更になり、二人一組になりゲートで「A自由席北側(メインスタンドホーム側)」の座席チェックをしました。ちなみにバックスタンドは改修工事中で、券種はS自由席、SA自由席、A自由席、芝生席に分かれています。

KO2時間半前に先行入場、一般は2時間前に入場でした。開門時にはジャズのような音楽がBGMで流れていたのが落ち着いた雰囲気印象的でした。来場者は招待券を配ったことやGW中ということもあり。幼児からご年配の方までかなり客層が広がったです。そのためかトイレ、売店から戻る際に再度、座席チェックをすることを知らない方もそれなりにいらっしやいました。

当日は島田DAY(島田市は藤枝市の隣りでホームタウンでもある)で島田市長の挨拶や茶摘み娘の衣装のお茶の販売もしていました。スタジアムDJが「大分サポーターの皆様、ようこそ蹴球都市藤枝にお越しいただきありがとうございます」と蹴球都市をPRしたアナウンスも流れていました。またボランティアの紹介もアナウンスもありました。

アウェイ入口には「大分サポーターの皆さんようこそ藤枝へ」と地元小学生が書いた画用紙に書いたポスターが貼ってありました。毎試合行っているとのことですが、心温まるおもてなしを感じました。ちな

みに数年前鳥栖に行った際、地元高校の書道部が毛筆で「ようこそ大宮アルディージャサポーターの皆様」と大きな半紙に書かれているのを見たことがあります。

3. 昇格、降格に備えた試合運営に対する意識を

後半が始まりしばらくすると、案内ポップ看板の片付けなどを行ない、試合終了後にはゴミの分別回収を行ない、分別されたゴミ袋を備品倉庫前に運び、グッズ販売の商品を車の前に運びK Oの3時間後の17:00に控室で終礼、ボランティア担当社員がひとりひとりに交通費をお渡しして解散となりました。解散後に担当社員の方から試合運営についての感想を聞かれました。

昇格後、初めてのGWということもあり過去最高の来場者数で私のいたゲートではひっきりなしに座席チェックをしていました。その中で感じたことはボランティアの人員の不足です。25名で多くのポジションをこなすのは限界があるので、例えば座席確認業務は有償の業者に委任するといったことが必要ではないかと感じました。人間的な余裕があれば、食事時間以外の休憩時間も取れ、ゆとりをもって活動ができるのではないかと感じました。

また座席確認に関しては、ポジションや休憩時間の配分をボランティアリーダーに委任してもらうか、担当社員が決めたほうがより円滑に運営ができるのではないかと感じました。

J2リーグの場合、22クラブ中4クラブは昇格か降格をします。その際には試合運営が大きく変わってくるということを感じました。ボランティアという立ち位置としては来場者数の増減、券種の増減、セキュリティ等の強化度などが推定されます。それにうまく対応しなければならなかった一方、スポーツイベントの外注のスタッフの増減に関してはクラブの領域ですので、クラブとボランティアの連携が大切かと思いました。

偉そうなことを書かせていただきましたが、私の所属するクラブが昇格した場合、どうになってしまうのかとも思いました。初昇格のクラブにとっては産みの苦しみかもしれませんが、それだけ成長過程だといえます。

5. あらためて「サッカー王国」を感じる

「エスパルスにも頑張ってもらわないと...」他会場の途中経過がスクリーンに出たときサポーターの方から話しかけられました。藤枝MYFCも5月の平日にナイターで磐田戦が開催される予定ですが6000名を見込む来場者が予想されているとのこと。お互いのライバル心とリスペクトを感じながら、ぜひ静岡ダービーを見てみたいなと思い茶畑の見える藤枝をあとにしました。皆さんどうもありがとうございました。